

# 東日本大震災 関連情報（第 18 報）

平成 23 年 7 月 27 日  
全国老人クラブ連合会

## ●東日本大震災に関する、老人クラブ関連の情報をお伝えします

### 元気袋 22,000袋が被災地に届いています

7月25日現在、全国の各老連から被災地に届けられた元気袋は22,000袋にのぼります。これは幹事県老連をとおしての発送に、各地からの直送（判明している分）を加えたものです。被災老連別内訳は、岩手県4500、宮城県8400、仙台市6170、福島県2260、茨城県670です。

#### ○ 避難所において「寺子屋」開催 [福島県老連]

福島県老連では、避難所において子どもから高齢者まで参加できる標記事業を実施しています。詳細は添付資料をご覧ください。

この事業には、第15報に掲載した大分県大分市香楠クラブが街頭募金で活用した手作り竹ゴマ等が、県老連に寄贈されて活用されました。（新聞記事添付）

## ●支援活動

#### ○ 元気袋の記事紹介（新聞記事添付） [三重県津市老連]

#### ○ 夏に向けて帽子を製作中 [兵庫県 北播磨ブロック老人クラブ連絡協議会]

先染め絹織物・播州織を使った帽子を、北播磨地域6市町老連の女性会員が製作しました。風でとばないように、頭回りにはゴムも入っています。（新聞記事添付）

#### ○ グラウンド・ゴルフ用具を、被災地へ寄贈 [名古屋市老連]

名古屋市老連では、名古屋市が支援している岩手県陸前高田市の老連に対して、市老連倉庫にあったグラウンド・ゴルフ用具を寄贈しました。贈呈式は7月19日に現地で行われ、会長代理として名古屋市から派遣中の市職員 日高保健師より陸前高田市老連 小田切会長へ贈呈しました。

陸前高田市老連は社協が事務局を担当していますが、建物は津波で使えなくなりました。被災前は、年2回グラウンド・ゴルフ大会を開催し、各クラブでも同好会を結成して毎日のように楽しんでいたそうです。

後日お礼状が市老連に届き、被災した老人クラブの活動に貸し出すだけでなく、仮説住宅で開催しているサロンの活動としても活用する予定とのことです。